

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06207
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学		開催方法 (キャンパス・施設)		<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)	
2. 科目名	生命現象を支える情報伝達機構					
	学問分野	番号	32 33	名称	理学 (生物) 農学	
3. 担当教員	松崎秀紀 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース 助教 安藤杉尋 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース 教授					
4. 開講期間 (曜日)	令和 8 年 7 月 25 日 (土)					
開講時間	9 時 00 分~10 時 30 分 (90 分 松崎) 10 時 40 分~12 時 10 分 (90 分 安藤)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	30 人					
6. 科目内容・授業計画	<p>生命科学コースでは、「生命機能の解明」や「生命資源の開発」に関する教育・研究を通じて社会で活躍できる人材の育成を目指しています。本公開講座では、生命科学コースの魅力を知っていただくために、教員が取り組んでいる研究を分かりやすくお話し致します。</p> <p>1. 9 時 00 分~10 時 30 分 松崎秀紀 「細胞の情報伝達」</p> <p>我々の体を構成する細胞はホルモンなどの様々な信号分子を受け取ることで活動を変化させています。この細胞が信号分子を受け取って活動を変化させるまでの過程を細胞内情報伝達といいます。我々の体は細胞内情報伝達の仕組みが正常に働くことで維持されており、この仕組みに異常が起こるとがんなどの病気を引き起こすことも知られています。本講座では細胞の情報伝達の仕組みや研究の歴史を紹介します。</p> <p>2. 10 時 40 分~12 時 10 分 安藤杉尋 「植物の病気の世界」</p> <p>植物は外敵からの攻撃から動いて逃げることはできませんが、生き残るために様々な防御システムを持っています。一方で、植物病原体 (カビの仲間、細菌、ウイルスなど) も生き残るためにあの手この手で植物に感染しようとします。植物がどのようにして外敵から身を守っているか (植物免疫) を理解することは、農作物の病害予防に応用可能なため、私たちの食の安定供給にも重要です。本講義では、このような植物-病原体相互作用について、分子レベルの攻防戦を分かり易く解説します。また、「植物の病気」と私たち「人類」との意外な関係についてもご紹介したいと思います。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 : 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など なし					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。